

基準 (2)

●下水道排除基準 (下水道法・条例)

	測定項目	特定事業場		非特定事業場 ※4
		排水量 50m3/日以上	排水量 50m3/日未満	
健康項目	1 カドミウム及びその化合物	≦0.03	≦0.03	≦0.03
	2 シアン化合物	≦1	≦1	≦1
	3 有機リン化合物	≦1	≦1	≦1
	4 鉛及びその化合物	≦0.1	≦0.1	≦0.1
	5 六価クロム化合物	≦0.2	≦0.2	≦0.2
	6 砒素及びその化合物	≦0.1	≦0.1	≦0.1
	7 水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	≦0.005	≦0.005	≦0.005
	8 アルキル水銀化合物※3	検出されないこと	検出されないこと	検出されないこと
	9 ポリ塩化ビフェニル	≦0.003	≦0.003	≦0.003
	10 トリクロロエチレン	≦0.1	≦0.1	≦0.1
	11 テトラクロロエチレン	≦0.1	≦0.1	≦0.1
	12 ジクロロメタン	≦0.2	≦0.2	≦0.2
	13 四塩化炭素	≦0.02	≦0.02	≦0.02
	14 1,2ジクロロエタン	≦0.04	≦0.04	≦0.04
	15 1,1ジクロロエチレン	≦1	≦1	≦1
	16 シス1,2ジクロロエチレン	≦0.4	≦0.4	≦0.4
	17 1,1,1トリクロロエタン	≦3	≦3	≦3
	18 1,1,2トリクロロエタン	≦0.06	≦0.06	≦0.06
	19 1,3ジクロロプロペン	≦0.02	≦0.02	≦0.02
	20 チウラム	≦0.06	≦0.06	≦0.06
	21 シマジン	≦0.03	≦0.03	≦0.03
	22 チオベンカルブ	≦0.2	≦0.2	≦0.2
	23 ベンゼン	≦0.1	≦0.1	≦0.1
	24 セレン及びその化合物	≦0.1	≦0.1	≦0.1
	25 ほう素及びその化合物	≦10	≦10	≦10
	26 ふっ素及びその化合物	≦8	≦8	≦8
	27 ダイオキシン類	≦10	≦10	≦10
	28 1,4ジオキサン	≦0.5	≦0.5	≦0.5
処理困難項目	29 フェノール類	≦5	≦5	≦5
	30 銅及びその化合物	≦3	≦3	≦3
	31 亜鉛及びその化合物	≦2	≦2	≦2
	32 鉄及びその化合物(溶解性鉄)	≦10	≦10	≦10
	33 マンガン及びその化合物(溶解性)	≦10	≦10	≦10
	34 クロム及びその化合物	≦2	≦2	≦2
生活環境項目	35 アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素含有量	< 380		< 380
	36 水素イオン濃度	5<, <9		5<, <9
	37 生物化学的酸素要求量	< 600		< 600
	38 浮遊物質質量	< 600		< 600
	39 ノルマルヘキサン抽出物質含有量			
	イ 鉱油類含有量	≦5		≦5
	ロ 動植物油脂含有量	≦30		≦30
	40 窒素	< 240		< 240
	41 リン	< 32		< 32
	42 温度	< 45		< 45
43 よつ素消費量	< 220		< 220	

- ※1 〔項目〕は直罰対象(指導や命令等を経ずに直ちに罰則適用)の排除基準です。この数値を超えるおそれがある場合には、水質の改善(改善命令)や公共下水道への下水排
一時停止を命じられる場合があります。また、基準値を超えた場合には、罰則が適用されます。
- ※2 単位は水素イオン濃度はなし。温度は(°C)、ダイオキシン類は(pg-TEQ/L)、他はすべて(mg/L)。
- ※3 検出されないこととは検出下限値(<0.0005mg/L)以下のことである。
- ※4 日排水量50m3未満は生活環境項目について適用除外。
- ※5 基準は、下水道法第12条、第12条の2、第12条の11、久留米市下水道条例第7条、第7条の3、第7条の4J